

南薩地域感染症危機管理情報ネットワーク (NISE) ナイス

2026 第30週(令和8年7月20日～令和8年7月26日)

【お問合せ先】 〒897-0001 鹿児島県南さつま市加世田村原二丁目 1-1 南薩地域振興局保健福祉環境部（加世田保健所）
TEL (0993) 53-2316 / FAX (0993) 53-4519 / E-mail minami-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

★ NISE (ナイス) : Nansatsu Infectious Diseases Surveillance of Epidemiology

加世田管内の手足口病が流行発生警報基準値を下回りましたので、流行発生警報を解除します。指宿管内では前週より減少しましたが、引き続き流行発生警報を発令中ですので、手洗い・うがいをはじめとした感染予防策に取り組みましょう。

管内及び県内でのCOVID-19の発生は減少傾向です。

1 定点報告疾患の発生状況

疾患名	警報		注意報基準値	対象	25週	26週	27週	28週	29週	30週
	開始基準値	終息基準値								
急性呼吸器感染症(ARI)	—	—	—	加世田	36.50	33.00	41.50	53.00	48.00	53.00
				指宿	28.50	37.50	43.50	32.00	45.50	16.00
				県	52.56	58.40	63.63	60.58	58.47	—
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	0.50	—
				県	0.11	—	0.02	0.04	0.33	0.07
COVID-19	—	—	—	加世田	6.00	9.50	16.50	8.50	6.00	1.00
				指宿	0.50	1.50	5.00	6.50	8.50	1.50
				県	4.91	9.19	13.09	11.54	8.47	3.28
RSウイルス感染症	—	—	—	加世田	—	—	—	—	—	1.00
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	2.29	1.87	2.16	1.90	2.26	1.61
咽頭結膜熱	3.00	1.00	—	加世田	—	1.00	—	1.00	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.61	0.97	0.97	0.68	0.77	0.65
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	—	加世田	—	—	—	—	4.00	—
				指宿	—	1.00	1.00	3.00	3.00	—
				県	2.32	1.71	1.42	1.16	1.65	1.32
感染性胃腸炎	20.00	12.00	—	加世田	11.00	3.00	4.00	7.00	8.00	2.00
				指宿	7.00	4.00	7.00	3.00	3.00	1.00
				県	4.71	4.94	4.32	3.48	2.74	2.87
水痘	2.00	1.00	1.00	加世田	1.00	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.48	0.58	0.26	0.32	0.23	0.29
手足口病	5.00	2.00	—	加世田	8.00	9.00	2.00	2.00	2.00	—
				指宿	3.00	4.00	3.00	1.00	8.00	3.00
				県	8.39	8.13	6.23	4.13	2.16	1.39
伝染性紅斑	2.00	1.00	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.23	0.23	0.19	0.19	0.23	0.13
突発性発しん	—	—	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	1.00	1.00	1.00	—	—	—
				県	0.45	0.55	0.32	0.32	0.52	0.29
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	—	加世田	5.00	2.00	2.00	1.00	—	—
				指宿	4.00	2.00	—	—	—	1.00
				県	1.68	1.19	0.97	0.68	0.19	0.19
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	—	0.03	0.03	—	0.03	0.10

※鹿児島県のARI報告数は来週報以降に反映されます。また、データは後日訂正されることがあります。

警報 流行発生警報の基準値を超えた疾患

注意報 流行発生注意報の基準値を超えた疾患

◎警報発令中
(なし)
(手足口病)

○注意報発令中
(なし)
(なし)

加世田保健所
指宿保健所

2 全数報告疾患の発生状況 (管内全ての医療機関から届出のあった一～五類感染症)

第30週 (7月20日～7月26日)	なし
-----------------------	----

3 南薩地域で注目すべき感染症

※人数は定点医からの報告数です。全体の患者報告数ではありませんので、注意してください。

急性呼吸器感染症（ARI）

第30週の報告数は、加世田保健所管内で106人（定点当たり53.00）でした。

指宿保健所管内では、32人（定点当たり16.00）でした。

南薩地域内での年齢別報告数は、1～4歳（73人）、5～9歳（30人）、0歳（14人）の順に多く報告されています。

COVID-19

第30週の報告数は、加世田保健所管内で2人（定点当たり1.00）でした。

指宿保健所管内では、3人（定点当たり1.50）でした。

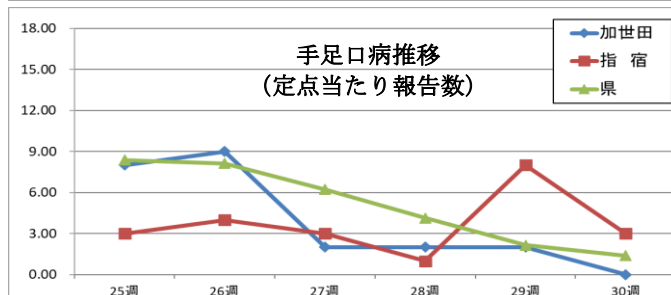
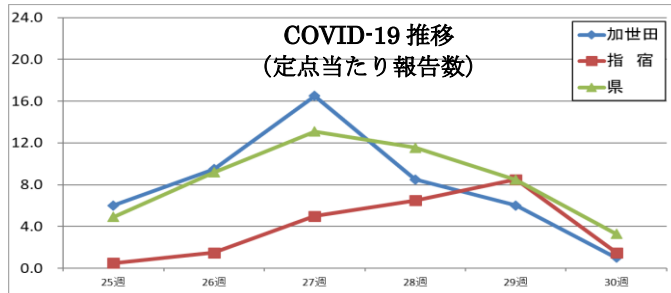
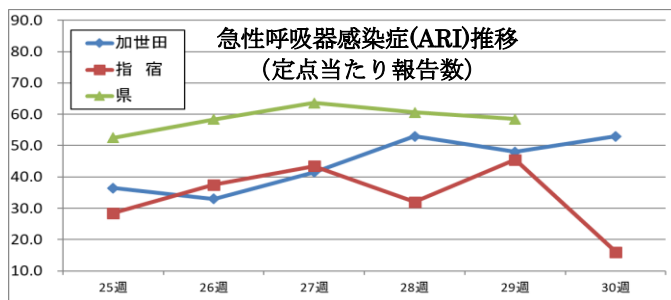
県全体では、187人（定点当たり3.28）であり、前週に引き続き減少傾向です。

手足口病

第30週の報告数は、加世田保健所管内で0人（定点当たり0.00）でした。

指宿保健所管内では、3人（定点当たり3.00）でした。

県全体では、43人（定点当たり1.39）でした。



今週の話題



令和8年7月27日（月）～8月2日は「肝臓週間」です。

■ 肝炎とは

肝臓は、消化管から取り込んだ栄養を利用しやすい形に変えたり、毒物を分解したり、体内の物質のバランスを維持したりなど、生命を支えるために重要な多くの働きを担っています。この肝臓の細胞が壊れてしまった状態が、肝炎です。肝炎には原因により、ウイルス性、薬物性、アルコール性、自己免疫性などの種類があり、このうち、ウイルス性肝炎は、肝炎ウイルス（A、B、C、D、E型）に感染することによって起こります。肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、もしウイルスに感染していても、自覚症状がないまま病気が進行し、知らない間に肝硬変や肝がんへ進行することもあります。

■ 肝炎ウイルスの感染経路

・A型、E型肝炎ウイルス

→ 主に経口感染で、ウイルスに汚染された食べ物、水等の摂取により感染します。

・B型、C型、D型肝炎ウイルス

→ 主に血液や体液を介して感染します。

くしゃみや汗、握手、食卓を囲むなどの日常的な接触では感染しません。



■ 肝炎検査を受けましょう！

ウイルス性肝炎は予防が可能な病気です。しかし、多くの肝炎ウイルス保持者（キャリア）が、感染の自覚がないまま日々を過ごしていることが問題視されています。もし、肝炎ウイルスに感染していても、早期に適切な治療を行うことで、肝炎を治療したり、肝硬変や肝がんへの悪化を予防したりすることが可能です。肝炎ウイルスに感染しているかどうかは血液検査で判断します。肝炎ウイルス検査を一度も受けたことがない方（特に、肝機能の異常を指摘されたことがある方、家族に肝臓の病気の方がいる方、平成6年以前にフィブリノゲン製剤等による治療を受けた方、昭和23年～63年頃に集団予防接種を受けた方など）は、ぜひ検査を受けましょう。

参考：知って、肝炎 | 厚生労働省